

「御堂筋チャレンジ」 の実施経過

官民連携による社会実験「御堂筋チャレンジ」の実施経過



第1弾：2017

モデル区間整備・御堂筋完成80周年をきっかけに、将来の魅力ある滞在空間を可視化



第2弾：2020

歩行者利便増進道路指定を念頭に区域指定・整備の検証と、道路協力団体による継続利活用の実験



第3弾：2021

道路協力団体による利活用拡大と、周辺・なんば駅前広場とも連携した歩行者回遊データの検証



- ・モデル区間完成（2016）
- ・御堂筋80周年記念事業（2017）
- ・御堂筋将来ビジョン策定（2018）

- ・新型コロナウイルス感染拡大（2020～）
- ・道路協力団体指定（2020）
- ・2期区間整備開始（2020）

- ・歩行者利便増進道路指定（2021）
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催（2021）
- ・2期区間整備、完成（2022）

4回目の社会実験「御堂筋チャレンジ2022」のねらい

ねらい① 整備後の管理運営スキーム

＜過去社会実験の取組＞

- 道路空間の適正化に向けた活動（放置自転車対策）と検証
- ベンチ・歩車分離サインの設置・検証
- 植栽の設置や維持管理の試行
- 維持管理のための財源確保の試行



ねらい② 道路空間の利活用形態

＜過去社会実験の取組＞

- 道路協力団体による多様な道路空間の利活用（オープンカフェ、ベンチ、案内板、モビリティハブ ほか）
- AIカメラなど最新技術の導入
- 利活用プレイヤーの発掘



ねらい③ エリア回遊創出・連携

＜過去社会実験の取組＞

- 面での回遊効果のデータの取得、検証
- 東西通りとの連携（オープンカフェによる回遊、環境改善）
- 地域・商店街との連携、産官学民での回遊性創出研究



2022社会実験のテーマ 2025めざして「御堂筋」のシクミをつくる社会実験

将来のシクミ①
道路管理運営の
新たなシクミをつくる
⇒道路協力団体制度活用

将来のシクミ②
多様かつ持続性ある利活用
を実現するシクミをつくる
⇒ほこみち制度活用

将来のシクミ③
産官学民が一丸となって
エリア回遊創出・連携に
取り組むシクミをつくる

2025大阪・関西万博
3期区間完成/なんば駅前広場完成/
万博関連事業/ほこみち本格活用など